土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　一級河川高梁川水系田黒川外　測量設計業務委託（災害査定）

事業名 または 工事名　一級河川高梁川水系田黒川外　測量設計業務

調査目的及び調査対象　河川 構造物基礎

ボーリング 名	R2-BP.2	**調査位置**	広島県庄原市西城町平子	**北　緯**	34°　54′　59.7447″
発 注 機 関	広島県北部建設事務所　庄原支所	**調査期間**	2020年 10月 30日 〜 2020年 11月 4日	**東　経**	133°　06′　34.0507″
調 査 業 者 名	広建コンサルタンツ株式会社　庄原支店 **電　話** 0824-72-5551	**管理技術者**	坂本裕之 地質調査技士登録番号: 第23054号	**照査技術者**	矢野通夫 地質調査技士登録番号: 第09654号
コア鑑定者	坂本裕之 地質調査技士登録番号: 第23054号	**ボーリング責任者**	佐原一紀 地質調査技士登録番号: 第14461号		
孔 口 標 高	T.P. 295.67m	**角度**	180° 上 / 下 0°　90°	**方位**	北 0°　90° 東　180° 南　270° 西
総 削 孔 長	12.00m	**地盤勾配**	水平0°　鉛直 90°		
使用機種 試 錐 機	YBM製YBM-1WA型	**エンジン**	ヤンマーTF120V-E型	**ポ ン プ**	YBM製GP-5型

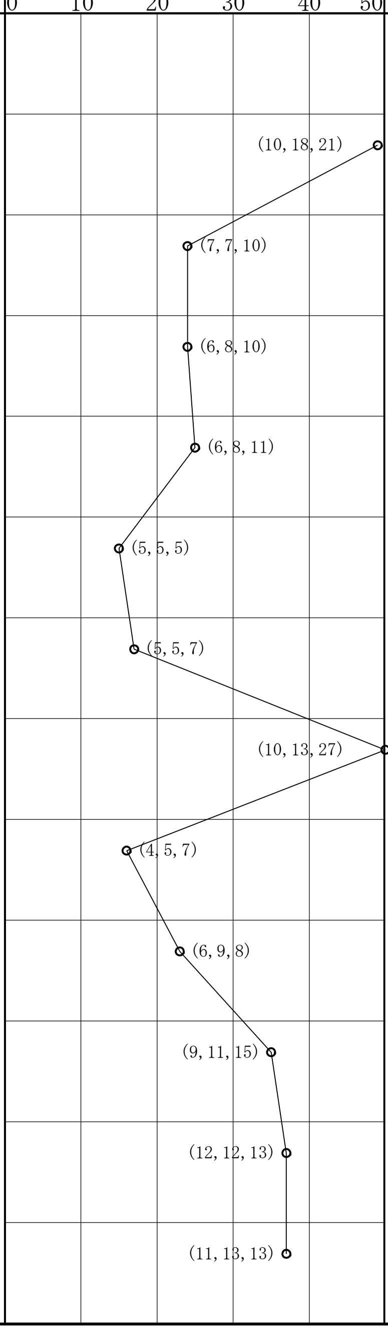
標高 (m)	深度 (m)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事
295.32	0.35	玉石		雑灰				河床転石、コンクリート（構造物片）。
294.77	0.90	礫混り粘性土		暗褐				φ5〜10mm程度の礫が少量混じり、基質は砂質粘性土。
291.22	4.45	砂礫		暗褐〜褐〜灰褐	中ぐらい			河床砂礫層。 0.9〜3.45m間は、基質が中砂〜細礫主体の流れマサ主体の砂礫。 3.45〜3.7m間はφ5〜15mm程度の礫が主体。
290.92	4.75	粘性土		褐		軟らかい		非常に緩い粘性土の薄層。指圧で貫通する。
289.37	6.30	粘性土質砂礫		淡褐	中ぐらい			下位の強風化変質岩起源の河床堆積物。 粘性土〜砂〜φ10mm程度までの中礫からなる。
286.22	9.45	砂岩・泥岩・礫岩互層		灰褐〜褐灰				第三紀備北層群の砂岩泥岩礫岩が強風化変質し軟弱化が顕著。 砂岩泥岩礫岩部分が数cm〜十数cm間隔の縞状を呈している。 特に泥岩部が変質進行し軟弱。砂岩礫岩部分は軽い指圧で容易に崩れる
285.92	9.75	粘性土		暗褐	非常に緩い	軟らかい		非常に軟弱な細礫混り粘性土を挟む。肉眼では沖積粘性土の様を呈している。
283.67	12.00	砂岩・泥岩・礫岩互層		雑褐灰				第三紀備北層群の砂岩泥岩礫岩が強風化変質している。 砂岩泥岩礫岩部分が数cm〜十数cm間隔の縞状を呈している。 特に泥岩部が変質し軟弱化。砂岩礫岩部分は指圧で容易に崩れる

孔内水位／測定月日: 11/04 -0.15

標準貫入試験

深度 (m)	0〜100	100〜200	200〜300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	N値
1.15〜1.45	10	18	21	49/300		49
2.15〜2.45	7	7	10	24/300		24
3.15〜3.45	6	8	10	24/300		24
4.15〜4.45	6	8	11	25/300		25
5.15〜5.45	5	5	5	15/300		15
6.15〜6.45	5	5	7	17/300		17
7.15〜7.45	10	13	27	50/300	300	50
8.15〜8.45	4	5	7	16/300		16
9.15〜9.45	6	9	8	23/300		23
10.15〜10.45	9	11	15	35/300		35
11.15〜11.45	12	12	13	37/300		37
12.15〜12.45	11	13	13	37/300		37

深度－N値図



試料採取（深度・試料番号・採取方法）：記載なし
室内試験・原位置試験：記載なし

削孔月日: 10/31（〜4.0m）、11/2（〜8.0m）、11/3（〜11.0m）